

年金制度、備えはあれど憂いあり

▶オレの定年編

【前号までのあらすじ】会員の辰野寿夫(60)は正月に還暦を迎えたばかり。年金、医療、介護など老後のマネープランに不安を抱えていたところ、初詣先の神社でスーパーFPの福田富子と知り合う。今日は、本格的な相談に乗ってもらおうと、妻の恵子(57)と一緒に指定された喫茶店にやって来た。

……… ¥ ………

「年金って60歳になると自動的にもらえるわけじゃないんですね」。日本年金機構から辰野のもとに、年金受給の手続きに必要な「年金請求書」が送られてきたのは60歳を迎える3カ月前、昨年10月のことだった。すぐにでも年金事務所に出掛け、手続きを済ませるつもりだったが、受け付けてもらえるのは誕生日の前日から。住民票や戸籍謄本なども同日以降に発行されたものを添付しなければならぬため、手続きはこれからという。

「辰野さんはスーパーコガネ勤務一筋だったからあまり心配ないと思いますが、念のため加入期間に漏れはないかななどをチェックしてくださいね」と富子。「手元の記録をよく整理して、機構のデータと照合するようにしましょう」と付け加える。

夫婦の持参した年金定期便の厚生年金と国民年金見込み額、それ以外にも妻への加算を合計すると2011年度の支給水準では、恵子が65歳を過ぎてからの夫婦の年金額は月24万円弱になる見通しだ。「11年度の支給額を確認したって、これから年金減るわよー」。富子が事務所代わりに使っているこの店、カフェ「トリアノン」の店主で、叔母の福田豊子(68)が割り込んできた。当事者だけに我慢できなくなったようだ。「減っちゃうんですか? 俺たちの月24万円……」と青白い顔で辰野がつぶやく。



絵・唐仁原教久

「叔母が言っているのは『過払い、分の解消のことです。日本の公的年金はいまのところギリシャのような大幅カットがあるわけではありません』と富子が引き取る。日本の公的年金には物価変動に合わせて、支給額を増減させる「物価スライド」というルールがある。ただ、過去には物価下落にも関わらず、特例的に減額を行わず、支給額を据え置いた時期がある。そのため、本来の年金額よりも2.5%高い水準の『過払い』が続いているのだ。政府はこれを12年度からの3年間で解消することを決定済み。「24万円の2.5%は6千円。1年で7万2千円か。温泉旅行1回は我慢ってとこか」と辰野がうめく。

「運用環境の悪化もあって、厚生年金と国民年金の積立額はピーク時の約150兆円から、10年度末には約120兆円まで30兆円も減ってしまったの。『過払い』を続けたことで、余分に使ったお金は7兆円にもなるのよ!」と富子の口調が熱を帯びる。

店内の雰囲気はやや暗くなってきたところで、「わずかな額ですが、年金を増やす方法もあります」と富子が切り出すと、夫婦の表情がぐっと真剣になる。「ご主人におすすめなのが、『国民年金の任意加入』です」。国民年金を満額受け取るには、40年

間保険料を納め続けている必要がある。辰野は学生時代の約2年間は加入が義務化されておらず、納付期間は40年未満なので、そのままでは満額はもらえない。だが、60歳から任意加入で2年分の保険料を支払えば満額もらえる。現行の保険料水準なら、65歳から任意加入分で国民年金が年約4万円増え、74歳から元がとれる計算だ。

「国民年金の第1号被保険者になる奥様は『付加年金』にも加入しましょう。もちろんご主人もね」。夫の退職に伴い、妻の恵子は国民年金の保険料支払いが免除される第3号被保険者から、自営業らと同じ支払い義務のある第1号被保険者になるのだ。

付加年金とは会社員らに比べて、将来の年金額が少ない自営業者らのための制度で、月400円納付すれば年金額が増える。たとえば1年で4800円を納めれば、65歳から年2400円受け取れる。「少額なのは残念ですが、67歳から元がとれる計算なので、お得ですよ」

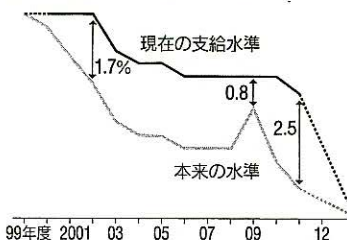
「おなかすいたー」。福田利子(9)が学校から帰ってきた。「この子が受給開始年齢に達する半世紀後、年金はどうなっているのか」。大人たちの複雑な視線に戸惑う利子なのであった。(佐野彰洋)



利子のつぶやき

もらいすぎの状態が続いてるんだあ…

年金の過払いが続いている



公的年金の物価スライドは物価変動に合わせて年金額を改定する仕組みです。物価が上がれば、年金額も上がり、下がれば減額されます。年金の実質的な価値を保ち受給者に不利にならないようにする目的です。現在の公的年金の支給水準が本来水準を2.5%上回る『過払い』状態となっているのは、自民政権時代の2000年度からの3年間、物価が下落していたにも関わらず、有権者からの反発を嫌って、政府が支給額を据え置いたことが原因です。年金財政の悪化を防ぐため、昨年民主党政権は過払いの解消を決めました。多くの改革は手つかずです。



福田富子(45) 自称スーパーFP。70歳でも80歳でも体が動く間は仕事を続けている気がする



福田金造(73) 富子と同居している父。年金支給日には1人でちょっと高級な外食をする



福田豊子(68) 金造の妹。カフェ「トリアノン」の来店客の7割を65歳以上が占める



福田利子(りこ、9) 富子の一人娘で小学4年生。最近のおやつはもっばらお餅